

20-17

「ペスト」病説指針

緒言

流行病史ヲ按スルニ嘗テ歐州ニ於テ發生シ慘毒ヲ逞ラシタル「ペスト」ハ常ニ病毒ノ輸入ニ原シキラ知ル其流行ヲ來タスヤ從來未タ感染セサル土地ニ於テ散在性ニ「ペスト」患者ヲ發生シ而シテ其傳染徑路ノ不明ナル時ニアリ初メハ極メテ緩慢ニ經過シ遂ニ大流行ヲ來タスヲ常トセリ故ニ「ペスト」襲來ノ危険アルニ際シテハ其初發患者ヲ鑑識スルハ最モ必要ナリ加之「ペスト」蔓延ニ對スル早期ノ有力ナル豫防ハ唯此初發患者ノ鑑識ニ由テノミ達スルヲ得ヘシ今哉大坂府及靜岡縣ニ該病發生シ漸次蔓延ノ兆アリ若シ病毒侵入シ來ラハ万悔スルモ蓋シ及ハサルベシ希クハ上下一致ヲ以テ之レカ侵入ヲ拒カスンハ本縣ハ勿論國家ノ大憂是レヨリ大ナルハナシ而シテ不幸防禦ノ策破レ病毒ヲ輸入スルコトアラハ其初發患者ヲ正當ニ診斷シ直ニ届出ノ手續ヲ爲サシコトヲ要ス依テ茲ニ「ペスト」ニ關スル大要ヲ述ベ聊カ當局者ノ參考ノ資ニ供ヘントス

第一編 本縣令達

●長野縣令第三十一號 (二十三年五月十一日)

明治三十年法律第三十六號傳染病豫防法ニ依リペスト豫防上必要ニ付該病ノ疑似症ニ對シ傳染病豫防法ノ全部ヲ適用ス
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

●長野縣告示第四百二十二號 (二十三年五月廿五日)

ペスト病豫防ノ爲メ大坂府ニ於テ左ノ通府令發布ノ旨通知アリ
タリ

大坂府令第三十一號 (二十三年五月十八日)

ペスト病豫防ノ爲濫褻、古綿、古着類、古革皮類、古羽毛類、古麻袋類、ハ古敷物類ハ大坂市ヨリ他ハ輸送スルコトヲ停止ス但左ノ手續ニ依リ消毒ヲ行ヒ警察官署ノ證明書又ハ輸送承認書ヲ得タルモノハ此限ニアラス

一 濫褻、古綿、古着類、古紙類、古麻袋類ハ當廳ノ認可ヲ得タル裝置ヲ以テ蒸氣消毒ヲ行ヒタルモノ但府立消毒所ニ於テ蒸氣消

毒ヲ受ケントスルモノハ當廳ニ願出ツヘシ其ノ費用ハ各自ノ負擔トス

- 一 古皮革類、古羽毛類及前號ノ物件ニシテ蒸氣消毒ヲ爲シ得サルモノハ三日間日光ニ乾燥シタルモノ其ノ乾燥ヲナスヘキ場所ニ就テハ豫メ所轄警察官署ニ届出テ認可ヲ受クヘシ
 - 二 消毒又ハ乾燥ヲ行ハントスルトキハ其ノ種類數量ヲ記シ所轄警察官署ニ届出テ警察官吏ノ立會ヲ求ムベシ消毒又ハ乾燥濟ノモノニ就テハ所轄警察官署ノ証明書ヲ受クヘシ
 - 三 四他ノ地方ヨリ輸入シタルモノニシテ其包裝ヲ解カス更ニ他ノ地方ヘ輸送セントスルモノハ其種類數量及發送地並ニ輸出先ヲ記シ所轄警察官署ヘ届出テ承認書ヲ受クヘシ
 - 四 警察官署ノ証明書及承認書ハ其物件ニ貼附シ置キ警察官吏檢疫係員及運漕業者等ノ求メアリタルトキハ之ヲ示スヘシ
- 本令ニ違背シ他ニ輸送ヲ爲シタル者ハ十圓以下ノ罰金ニ處ス
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

●長野縣告諭第一號 (三十二年五月十九日)

ペスト病豫防ニ就テハ客年十一月以降屢々告諭ヲ以テ注意置候處今ヤ追日薄暑ノ候ニ際シ大坂地方ニ於テ病勢再ヒ萌動シ既ニ該病毒ニ感染シタル者數名有之又静岡縣下静岡市小笠郡及富士郡等ヘモ最早其病毒ヲ輸入セシ越公報アリタリ就キテハ此際豫防上一層慎重周到ヲ要スヘキ義ニ付客年十一月長野縣告諭第十號各項ノ趣旨ヲ遵守スヘキハ勿論清潔法ヲ持續シ尙該地方ヨリ來ル旅客ニ對シテハ特ニ注意ヲ加ヘ該病ヲ未發ニ防遏スル様銳意注意セララルヘシ

●長野縣告諭第二號 (三十二年六月三日)

鼠族ハペスト病傳播ノ大原因タルヲ以テ未ダ該病ノ侵襲セザルニ先チ鼠族ノ驅除法ヲ講スルハ豫防上必要ノ手段ニシテ殊ニ本縣ハ近頃同病患者續發スル大坂府及静岡縣トハ瀛車聯通ノ地ナレハ何時病毒ヲ輸入スルモ難計今日ニ於テ其原因タルベキ鼠族ノ驅除法ヲ行フハ實ニ目下ノ急務ナラン故ニ瀛車沿道ノ地ヲ始

又其他各市街地ニ住居スル者ハ此際速ニ家鼠ノ驅除ヲ嚴行スヘシ然ルニ鼠族ハ増殖力極メテ強大ナレバ一時一回ノ驅除ヲ以テ足レリトセス持久的ニ之ヲ爲スニアラサレバ實効ヲ収メ難キ儀ニ付自今怠ラス其實効ヲ力メ捕獲シタル家鼠ハ直ニ燒却シ又死因不明ノ斃鼠ヲ發見シタルトキハ鐵葉罐又ハ竹筒等ニ容ル、カ若クハ油紙ノ類ヲ以テ包ミ其死体ニ付着セル汚物又ハ寄生シタル昆虫ノ逃散ヲ防キ直ニ警察官署、巡查駐在所若クハ巡回ノ警察官吏ニ届出スヘシ

●長野縣訓令第七十四號 (二十三年五月十一日)

警察署 警察分署

市役所 町村役場

客歲十一月以降兵庫、大坂地方ニペスト病流行シ勢ヒ最モ猖獗ヲ極メタリシモ幸ヒニ本年一月ニ至リ一時全ク終熄ヲ告ケタリト雖トモ今ヤ追日温暖ノ候ニ際シ病毒再ヒ萌動シ目下蔓延ノ兆候アル趣就テハ自今醫師ヨリ差出シタル肺炎、肋膜炎、腦膜炎、

腦出血(卒中)脚氣衝心、心臟麻痺、梅毒若クハ病症不詳ノ死亡届書又ハ死体檢按書ヲ受理シタルトキハ直ニ所轄警察官署、巡查派出所又ハ巡查駐在所へ死者ノ住所氏名年齢病名及其醫師ノ氏名ヲ通報スヘシ

●長野縣訓令第八十四號 (二十三年六月二日)

郡市役所 警察署

警察分署 町村役場

鼠族ハペスト病毒傳播ノ大原因タルハ流行病學ノ是認スル所ニシテ之ヲ驅除スルハ寔ニペスト豫防上ノ最要件ナリ然リト雖モ該族ノ増殖力ハ甚タ強大ナルヲ以テ持久的ニ之レカ驅除法ヲ講スルニ非サレハ其實効ヲ収メ難キヲ以テ本日告諭ヲ發布シタル儀ニ付其實行ヲ期セシメ持久ヲ計ルト共ニ左ノ事項ヲ施行シ夫々注意監督ヲ力メ遺東ナカラシメ本病ヲ未發ニ防遏スル様取計フヘシ

一死因不明ノ斃鼠ハ警察官署ニ於テ細菌檢査ヲ行ヒタル后燒却

スル事

二前項ノ場合ニ於テ「ペスト」菌ヲ發見シタルトキハ必要ト認ムル部分ニ消毒方法ヲ施行シ當分ノ内其附近居住者ノ健康診斷ヲ爲スヘキ事

三ペスト患者發生地ト交通頻繁ナル市街地ニ於テハ貧民部落、木賃宿、貨物集散場附近其他必要ト認ムル部分ニハ時々檢病的傍診ヲ行ヒ疑ヒアルトキハ醫師ヲシテ檢診セシムル事

●客年十一月長野縣告諭第十號(參照抄録)

一家鼠ハ「ペスト」ニ感染スル一人ト異ナルナク該病ニテ斃レタル屍ハ其病毒ヲ包藏シ周囲ノ土芥塵埃昆虫等ニ介シテ人身ニ傳フルノ虞アルヲ以テ家鼠ノ驅除方法ヲ計ルベキハ勿論万一其死体ヲ發見シタル者アルキハ直ニ消毒ノ上一定ノ場所ニ於テ燒却スル事

二原因ノ如何ニ係ラス身体ニ發熱シタルキハ直ニ醫師ノ診斷ヲ

受ケシムル事

三手足其他ニ傷ヲ生シタルキハ直ニ醫療ヲ受ケ且ツ傷部ハ病菌侵入ノ虞アルヲ以テ仮命微傷ト雖外物ニ觸レサル様注意スル

四人力車挽其他力役者ハ往々跣足徒步ノ習慣アリ是等ハ最モ病毒傳染ノ虞アルヲ以テ必ス足袋ヲ穿用スル

五ペスト流行地タル臺灣清國香港地方ヨリ輸入スル穀類、油糟豆糟ノ類及襪類ハ病毒傳播ノ虞アルヲ以テ殊ニ注意スル

●傳染病豫防法施行規則(抄録)

第六條 警察官吏又ハ檢疫委員ハ傳染病豫防法第八條又ハ第九條第二項ニ依リ左ノ日時間交通ヲ遮斷スルヲ得

但十九條第二項ニ依リ交通ヲ遮斷スルハ特ニ府縣知事(東京府ハ警視總監)ノ命アル場合ニ限ル

「ペスト」患者又ハ死体アル間及患者ヲ入院若クハ入舎セシメ又ハ患者治癒若クハ死亡シタル后消毒方法ノ施行ヲ了リタル時ヨ

リ起算シ滿十日間前項ノ場合ニ於テハ市町村長區長戸長又ハ豫防委員ハ警察官吏又ハ檢疫委員ノ指示ヲ受ケテ交通遮斷ニ關スル事務ニ從事スベシ

第一編 百斯篤病論

(1) (百斯篤ノ原因)

佛人エルザン氏ノ發見シタル一種ノ桿狀菌ニシテ其形態及大小ハ甚タ不等ナリ然レモ通例兩端鈍圓ニシテ長徑ハ短徑ノ二倍或ハ三倍ヲ超ユル短桿狀菌ナリ
ペスト菌ハ普通ノ亞尼林色素ヲ以テ容易ニ染色シ得ヘシ而シテ菌体ノ外表部殊ニ兩端ハ染色良好ニシテ中央ハ染色不良ナリ「グラム」氏法ニヨリテハ脫色ス

(2) ペスト菌ノ生活力並ニ外感ニ對スル抵抗力

ペスト菌ノ抵抗力ハ全体他ノ微菌ト比較スルトキハ「コレラ」菌ト同様ニ極メテ抵抗力弱シ即第一乾燥ニ對シテハ硝子板ニ塗

布シ放置スルニ攝氏二十八度乃至三十度ノ温度(酷暑ノ温度)ヨリ少シク高キ温度)ナルトキハ三十六時間位ハ生活ヲ保ツコトヲ得ルト雖其先キハ自ラ斃ル「アーベル」氏ハ硝子板ニ塗布シ乾燥器ヲ以テ乾燥スルトキハ三時間位ニシテ死スト云フ而シテ乾燥器ヲ用ヒス室内ニ於テ乾燥ストキハ六日乃至九日位生活ヲ保ツ又布片綿花等ニ塗布シ乾燥スルトキハ三十日生存スルコトアリ又獸類ノ皮ニ塗布シ檢セシニ十日間生存セリト云フ

硝子板ニ塗布セシ者ヲ光線ニ燥ストキハ大底一時間ニシテ死ス之ニ反シテ暗所ニ置クトキハ永ク死セズ乾熱即空氣ヲ熱シテ消毒ヲ試ムルニ金屬或ハ拮中ノ空氣ヲ熱シ攝氏百度ニ觸レシムルトキハ一分時七十五度ナルトキハ三十分五十度ナルトキハ一時間ニシテ死亡ス

濕熱即蒸氣若クハ煮沸スルニ攝氏百度ノ温ナルトキハ一分乃至二三分(人ニ依テ異ナルト雖)八十度ナルトキハ五分乃至二

三十分七十度ナルルキハ五分乃至十分六十度ナルルキハ十分以上
五十度ナルルキハ一時間ニテ死スト云フ
消毒藥ニ就テハ

石炭酸^{0.10}乃至^{3/4}〇〇ハ一時間¹⁰〇ハ一時間ニシテ死シ絹糸ニ塗
布セシ者ハ⁵⁰〇ニシテ五分時ニシテ死ス

昇汞^{0.10}〇ハ寒天培養ヲ十分時ニ腺内容ヲ「デツキクラス」ニ
附着セシモノヲ二分時ニ枯死セシム

(3) 石灰乳¹⁰〇ノ液ハ二時間^{0.50}〇ノ液ハ三時間ニ死ス
ペスト菌ノ動物体外ノ生活

水「ウイルム」氏ノ試験ニヨルニ蒸溜水中ニハ廿日間水道ノ水
中ニハ十六日間海水中（海水中ニハ塩分其他黴菌ニ不利益ナ
ル性分ヲ含有スル故ニ他ノ黴菌モ多クハ害ヲ蒙ル）ニハ六日
ニシテ死亡スト云フ

土地
ペスト菌ハ土地ノ性質ニ依リ其生活状態異ナル即土ヲ燃燒シ

有機物ヲ除去シ試ムルニ貳週間生活シ之ニ反シテ有機物ヲ含
有スル不潔ノ土地ニハ貳個月間生活ヲ保ツト云フ

塵芥

北里エルザン、ハンチン、諸氏ノ試験ニ依ルニ患者病室内ノ芥
ヲ探リ鼠ニ接種セシニ往々發病スト云フ然シ岡田博士ハ臺灣
ニ於テ試験セシニ其成蹟陰性ナリシト云フ尙同氏ハ鼠糞中ニ
ペスト菌ノ存在ヲ證明シ其糞便カ塵芥中ニ混在スルルキハ永ク
生存スルヲ認メラル

飲食物

ペスト菌ハ總テ蛋白質ノ食物其他乳汁、大根、林檎、パン、等ノ
類ニハ一週乃至三週間生活ス然レモ反應ノ偏スル食物例ハ醬
油、酒、味噌ハ皆酸性ナル故ニ長ク生活スルヲ能ハサルモノナ
ラン

排泄物殊ニ尿

尿中ニハ「ペスト」菌ハ二十二日間生存スト云フ

(4) ペスト菌ト昆虫及鼠類ノ關係

蠅、蚊、蚤、蟻、及ヒ家鼠ハ「ペスト」ノ流行ニ密接ノ關係アルハ
 既ニ北里「イエルサン」緒方諸博士等ノ實驗セル所ニシテ右等
 ノ昆虫ハペスト病鼠ニ寄生シ其毒血ヲ吸ヒテ顎口ニ其病菌ヲ
 附着シ轉シテ人ニ寄生スルハ其螫刺ニヨリテ病菌ヲ傳フル
 モノトナセリ岡田博士カ臺灣ニ於ケル試驗ニヨルニ右等昆虫
 殊ニ蠅ハペスト菌ヲ含有スル者ニシテ若シ鼠是等昆虫ノ屍体
 ヲ喰フハ忽チ之レニ感染シ此鼠已レガ巢窟ニ歸リテ斃ル、
 ヤ其特性トシテ友食ヲ始メ遂ニ鼠群ニ蔓延シテ多數ノ斃鼠ヲ
 見ルニ至ルナリト云フ故ニ氏ノ試驗ニヨレハ先ツ昆虫ペスト
 ニ罹リ鼠之レヲ喰ヒテ鼠群ニ發スルナリ又昆虫ノ排泄スル尿
 尿中ニモ夥シク病菌ヲ含有スルモノニシテ之レヨリモ鼠若ク
 ハ人体ニ傳染スル機會多シ

(5) ペスト菌ノ人体ニ侵入スル門戶

ペスト菌ハ昆虫、家鼠ノ尿尿、昆虫ノ刺螫患者ノ排泄物患者ノ
 爪縫中ノ賦垢、襪衣、飲食物及塵埃中ニ混シテ人身体ニ侵入ス
 ルモノニシテ其門戶ハ主ニ三トス即創傷呼吸器及消化器之レ
 ナリ

第一 消化器ヨリ本病ニ感染スルノアルハ試驗動物ニ就キペス

ト菌ヲ混シタル食物ヲ與ヒテ忽チ之レニ罹ルヲ以テ明ナリ即
 腸「ペスト」ナル者ハ消化器感染ノ徵ナリ然レモ此種ノ感染ハ
 最モ稀ナルカ如シ消化器中最モ侵入シ易キ部位ハ扁桃腺ナリ
 凡ソ昆虫ノ尿尿ニハ多數ノペスト菌ヲ含有スルモノナレバ蠅
 ノ如キモノ食物上ニ群集シテ菌ヲ含有スル尿尿ヲ泄スヲ以テ
 之レヨリ感染スル機會蓋シ多カルベシ殊ニ食物上ニ附着セル
 「ペスト」菌ハ稍久シク其生活力ヲ有スルニ於テヤ
 第二 呼吸器

ペスト菌塵埃等ニ混シタルペスト菌空氣中ニ飛揚シ以テ氣道
 ヨリ感染スルノ一般ニ信ヲ措クニ些ナシ之レニ反シテ肺ペ
 スト患者ニシテ多數ノペスト菌ヲ混セル喀痰ハ咳嗽時及談話

ノ際ニモ細末ノ滴狀トナリ空氣中ニ飛散ス

第三 創傷

ペスト菌ノ侵入門戸ノ主ナル者ハ皮膚及粘膜ノ損傷トス是レ本病ノ下等賤民勞働者職工等ニ多キ所以ナリ

(6) 「ペスト」ノ潜伏期

潜伏期ハ平均三日最長ヲ十日ト見做スベシ

(7) ペストノ症状

ペスト病ハ概シテ急性ニシテ通例三日乃至五日ノ經過ヲ有スル全身疾患ナリ其外表淋巴腺ノ腫脹若クハ皮膚ニ發スル膿胞癰或ハ肺炎ハ局處的症候トシテ疾患ノ初期或ハ經過中ニ發シ若クハ屍体ニ於テ初メテ發見スル所ノモノナリ

(之レヲ以テ何レノペスト流行時ニ於テモ「ペスト」ニ關シテ精細ナル經驗知識ヲ有セサルモノ或ハペストニ就テ豫想タモセザリシモノハペストヲ以テ普通ノ癰トナシ普通ノ腺腫トナシ或ハ日常目撃スル肺炎トナシ若クハ惡性ノ窒扶斯、間歇熱ト

誤診シ或ハ不詳ノ疾患トシテ長ク懷疑ノ裏ニ逍遙スル間ニ類似ノ疾患自ニ頻發シ其傳染性タル疑ナキヲ以テ自覺スルニ至リ初メテ恐ルヘキ惡疫ノ眼前ニ横ルニ寒心スルカ如キ比々トシテ皆然リ)

(年齡) ペストハ男女、老弱、貴賤ヲ問ハス然レトモ概シテ壯年ノ男子ニ多ク貧民社會ニ尤モ多ク流行シ亦其性惡シ

ペスト疾患ノ初期ニハ數時間或ハ數日間前驅症ヲ伴フアリ前驅症トシテハ倦怠、惰鬱、腰痛、頭痛、煩渴、食思欲損等ナリ或ハ屢々全ク突如トシテ發病シ腺腫癰或ハ肺炎等其將ニ現ハレントスル局處ニ刺痛灼熱ノ感或ハ鈍痛ヲ起シ次テ惡寒若クハ戰慄ヲ以テ体温上昇ス或ハ局部症候ノ未タ現ハレサルニ先チ數日間或ハ數時間發熱スルモノナリ

疾患ノ初期ニハ殆ント例外ナリ眩暈アリ或ハ増惡シテ酩酊狀トナリ甚シキハ昏醉ニ陥リ四肢ノ運動遲緩スルモノアリ惡心嘔吐ハ屢々眩暈ト伴ヒ又心機衰弱シテ虛脫ニ頻スル者少ナカ

患者、醫ノ治療ヲ受クルニ至レル際其重症ナルモノニ於テハ諸症既ニ全ク完備スルヲ常トス視線虚空ニ向ヒ顔面稍腫脹弛緩シテ茫乎タリ眼球ハ著シク潮紅シ言語ハ訖訖シ歩行蹣跚シ其状恰モ酩酊セルモノ、如シ殊ニ患者跌倒シテ顔面或ハ四肢ニ擦過傷或ハ皮下溢血等ヲ起セル時ハ愈酩酊者ニ相似タリ舌ハ白色ニシテ石灰ヲ撒布セルモノ、如ク或ハ希レニ赤色ヲ呈ス皮膚ハ全身乾燥灼熱ス或ハ絶脈シテ四肢既ニ厥冷シ粘汗淋漓タルニモ拘ハズ顔面及胸部ニ特ニ温ノ高キモノアリ呼吸ハ苦悶呻吟状ニシテ心搏ハ亢進シ脈搏ハ緊張ヲ失シ橈骨動脈ニ於ケル脈搏ハ重複ニシテ大或ハ心搏尙盛ナルモ既ニ糸狀ニシテ絶脈ニ近キアリ

患者ヲ床上ニ移セハ既ニ衰弱甚シク嗜眠状ニ陥リ靜ニ喃々タルアリ或ハ失心シテ多辨ナルアリ或ハ不安ニシテ床上ニ聲高ク譫語ヲ放チ或ハ臥床ヲ出テ間斷ナキ逍遙狂乱暴行等觀念ノ

儘ニ行動シテ毫モ意志ヲ以テ抑制スルコトナシ

精細ナル検査ヲ遂ナハ病機全ク進マサルモノト雖局所ノ病竈ヲ發見シ以テ診定シ得サルニ非ス新タニ成レル腺腫或ハ皮膚膿胞或ハ肺炎ノ初期症狀ハペスト病ノ完備セル症候ニ属ス故ニ此等特異ノ主候ヲ捉ヒテ腺「ペスト」ト云ヒ或ハ皮膚「ペスト」ト云ヒ或ハ肺「ペスト」ト云フナリ其他腸「ペスト」及仮性「ペスト」ノ如キ皆然リ

腺「ペスト」或ハ腺腫「ペスト」ハ「ペスト」中最モ多數ナルモノニシテ腺腫ヲ來タスヲ以テ主候トナス其腺腫タルヤ輕重一ナラス急激ニ腫脹スルアリ或ハ徐々ニ腫脹シ來ルアリ又一個人ノ腺ヲ侵スアリ多數ヲ侵スアリ而メ炎衝ハ腺ノ周圍ノ組織ニモ波及ス夫レ斯ノ如クシテ各外表ノ淋巴腺ハ何レモ原發病竈タルヲ得ヘシ然レモ多クノ場合ニ於テハ鼠蹊部或ハ上部股三角部ノ腺ニシテ次ニ腋窩腺殊ニ小兒ニ於テハ頸腺ナリ稀レニハ后頸肘腋腺膝膕腺耳后腺舌骨腺等ヲ侵ス又屢々外表ノ腺ハ炎衝

極メテ微弱ニ或ハ外觀上全ク侵害ヲ被ラスシテ内方ノ腺主トシテ腫脹ヲ起スヲ在リ例ハ股腺ハ全ク腫脹セザルモノ、如シト雖腸骨腺或ハ腰腺ハ甚ク腫大シ之レヲ腹壁上ヨリ觸ルレハ盲腸周圍炎ノ腫瘍ノ如ク或ハ頸腺ノ腺腫ハ腫脹不明ナリト雖鎖骨部ニ濁音ヲ呈シ頸部諸器ニ壓迫症狀ヲ來タス即胸腔上部ノ淋巴腺主トシテ腫脹スルモノアリ而メ腺腫ハ或ハ腫大セル個々ヲ明ニ觸レ得ルアリ或ハ中間組織ノ爲メニ合シテ一個ノ腫脹トナリ周圍ニ對スル限界不明ナルアリ又甚シキハ炎衝性水腫ノ周圍組織及皮膚ニ波及スルモノアリ而メ此等腺腫ノ壓痛ハ通常自發性疼痛ニ比シテ大ナリ故ニ半ハ四肢ヲ屈シテ腺腫存スル側ノ皮膚ヲ緊張セサレハ患者ハ敢テ苦痛ヲ訴ヒス從テ小ナル腺腫ハ患者自ラ知ラズ醫ノ觸壓ヲ蒙リテ初メ發見スルコト在リ

肺「ペスト」ハ或ルペスト流行中著シク多數ノ患者ヲ出スコト在リト雖之レヲ腺「ペスト」ニ比スレハ一般ニ少數ナリ而シテ其

經過ハ殆ント全ク通例ノ激烈ナル加答兒肺炎或ハ格魯布性肺炎ト一致ス故ニ其略ノ細菌學的檢査ヲ行ハスンハ到底之ヲ他ノ肺炎ト區別スルヲ能ハス

總テペストハ其種類ノ何タルヲ問ハス疾患ノ初期ニ於テハ何レモ全一ニシテ發熱ノ后數時或ハ一二日ニシテ初メテ各症狀現ハル希レニハ發熱第二日ニシテ他ノ症狀現ハレ來ルモノナリ何レノ「ペスト」ニセヨ初期ヨリ既ニ心機大ニ沈衰スルハ特異ナリ又初期ニ於テ腸胃ノ刺擊症狀ヲ發シ上腹部及盲腸部ハ壓ニ對シテ過敏ニシテ激烈ナル嘔吐ヲ來タシ末期ニハ黑色ノ便ヲ泄スモノアリ又通例腹部ハ少シク膨滿シ脾臟ハ或ハ觸レ得ヘク或ハ打診上少シク腫大ス吐血及血尿ニ至テハ稍稀ナリ扁桃腺ニ於ケル實布埜里性疾患ハ稀有ニアラスシテ又初期ニ來タルモノナリ多少ノ結膜刺戟ノ存スルハ殆ント常ニシテ之レヨリ角膜炎ヲ併發シ遂ニ全眼球ノ化膿ヲ起スコトアリ外皮及粘膜ニ於ケル点狀及線狀ノ出血ハ流行ニヨリテ多少アリ其

他經過中ニ腺腫ノ下方ニ淋巴管炎ヲ起コシ茲ニ水胞ヲ形成シ
或ハ先發セル腺腫ノ外他ノ部分ニ新タニ腺腫ヲ起コシ來タル
コアリ

(8) 經過

ペスト病ノ經過ハ侵サレタル臟器ノ如何ニヨリテ同シカラス
皮膚ペスト及腺「ペスト」ノ比較的良性ニシテ肺ペストハ最モ
重症速ニ死ノ轉歸ヲ取ルヲ常トス又腺腫中頸部腺腫ハ最モ惡
性ニシテ遂ニ窒息死ヲ來タスコト少カラズ時トシテハ局限セ
ル病症ヲ呈セス患者未タ其疾患ヲ自覺セサルニ先ツテ雷擊的
ノ死ヲ來タスコト在リ疾患ノ第三日或ハ第四日ニハ熱度多ク
ハ下降シ之ト同時ニ死亡ス其快復スルモノニ於テ第三日或ハ
第四日ヲ經過シテ或ハ解熱シ或ハ依然トシテ稽留シ或ハ一回
解熱スルモ再ヒ發熱スルアリ第六日及第九日ニ於テ再体温昇
リ脈搏増加ヲ現シ而モ貳週間以上持續スルコト在リ是レ實ニ新
タニ腺腫ノ發スルヲ示スモノナリ体温ハ三十九度乃至四十度

ニ達スルヲ常トス去レト尙低キモノアリ又四十一度ニ上昇シ
或ハ稽留スルハ疾患ノ初期若クハ末期ニ於テ決シテ稀有ニ非
ス死前ニハ体温ハ体力ノ虛脱ト共ニ下降スルヲ常トス然レモ
時トシテハ却テ上昇シ屍體ニ於テ尙ホ四十二度ノ甚シキニ達
スルコトアリ

(6) 遺后病

「ペスト」ノ遺后病ハ諸神經ノ麻痺最モ多シ

(10) 「ペスト」ノ豫後

輕症ノ「ペスト」ハ通常佳良ナリト雖重症ニ在リテハ大抵不良
ニシテ劇症ニアリテハ絶對ニ不良ナリ腺腫「ペスト」ニ在テハ
鼠蹊腺侵サレタルモノ最モ良ニシテ腋下腺之レニ次キ頸腺侵
サレタルモノ最モ不良ナリ肺「ペスト」ハ豫後極メテ不良ニシ
テ死ヲ免ルコトナシ

「ペスト」ノ死數ハ頗ル高度ナリラウンソン氏ハ香港ニ於テ試驗
スルニ九十二、四〇孟買ノ流行ニ在テハ九五乃至九九〇大坂

神戸ノ流行ニ在テハ

(11) ペストノ診断

ペストノ診断ハ通常容易ナルモノニ非ス輕症ペストハ之レヲ
 横痃若クハ單純ノ淋巴腺炎ト誤リ易ク肺ペストハ格魯布性肺
 炎ト區別シ難シ腸ペストハ腸潰瘍若クハ腸窒扶斯ト誤診シ易
 ク幼兒ノ「ペスト」ハ腦膜炎ト鑑別ニ困ムコト在リ只劇性腺性
 ペストノ症狀整然タルモノハ之ヲ他病ト誤認スルコト少シ高
 熱高度ノ脱力顔貌消衰或ル腺腫ノ疼痛性腫脹及結膜充血ノ微
 アルトキハ一見「ペスト」ナルヲ認識シ得ベシ殊ニ固有ナルハ
 腺腫ノ状態ニシテ腺腫ハ周圍ノ滲淫極メテ強度ニシテ移動シ
 易カラス且ツ其形狀平滑ナテスシテ累々トシテ硬度極メテ堅
 キヲ特異ナリトス
 然レトモ「ペスト」ノ確診ハ本病固有ノ「ペスト」菌ヲ確認シタ
 ル後始メテ下シ得可シ

(12) ペスト豫防法

豫防法ヲ分チテ國家的即公衆豫防法ト個人的即私己豫防法トナ
 二トス

(一) 國家的豫防法ヲ分テ船舶檢疫法、氣車檢疫法、交通遮斷法トナ
 ス此方法ニ依リテ本病ノ侵入ヲ豫防シ若シ或ル地方ニ侵入ヲ
 蒙リタルキハ當該地方ニ嚴重ナル交通遮斷法ヲ實行シ遮斷區
 域内ノ家鼠ハ速ニ之レヲ驅除シ且ツ其地方ニハ大清潔消毒法
 ヲ行ヒ日々住民ノ感否診斷ヲ施行シテ病毒ノ撲滅ヲ計ル可シ
 (1) 船舶檢疫法 (2) 氣車檢疫法 (長野縣訓令百九十九號ニ基キ施行ス) (3) 交通遮斷法
 完全ナル交通遮斷ヲ厲行スルヲ得ハ本病ノ蔓延ヲ防止シ得
 ルハ蓋シ難事ニ非ス然レモ「ペスト」豫防ノ交通遮斷ハ單ニ人
 民ノ交通ヲ遮斷スルノミナラス鼠族ノ交通ヲモ防禦セサル可
 ラス故ニ其遮斷區域モ亦自ラ廣ク從テ費用モ多額ヲ要シ損害
 甚タ少カラサレハ可及的最初ニ發シタル患者ヲ速ニ確診シテ
 其一部ニ於テ嚴重ニ交通ヲ遮斷シ鼠ノ交通ニ對シテハ家屋
 ノ接近セル方面ニ於テハ網ヲ張リテ之レヲ防キ速ニ鼠狩ヲナ

ス可シ遮斷區域内住民ノ費用ハ公費又ハ國費ヲ以テ補助セザル可ラスベスト病毒ノ侵入ヲ蒙リタル地方ニアリテハ當該全市町村ニ大消毒法ヲ厲行シ患者ヲ出シタル家屋ハ其病毒ノ天井裏ノ塵埃、室内ノ塵埃床土中ニ混在スルモノナレハ必ス之レヲ焼却スルノ法ヲ講セザルヘカラス

其遮斷内ノ家屋ハ毎日之レヲ巡檢シテ全人民ノ感否診斷ヲナスコト最モ必要ナリ

此感否診斷ニ當リ注意スベキ件ハ

- (一) 顔貌一種ノ疲勞狀態ヲ呈スルヤ否ヤ
 - (二) 腋下腺股腺鼠蹊腺、顎下腺等腫脹シテ按壓ニヨリ疼痛ヲ感スルコトナキヤ否ヤ
 - (三) 体温昇騰スルヤ否ヤ
- 「ベスト」ヲ發生シタル市町村ニハ鼠狩ヲナスコト最モ必要ナリ鼠狩ヲナスニ適當ナル方法ハ未タ之レナシト雖モ便宜ノ方法ヲ以テスヘシ

「ベスト」發生地ニ於テ斃鼠ヲ發見シタルトキハ消毒藥ニ浸シタル布片ヲ以テ鼠屍ヲ包ミ之レニ寄生セル昆虫ノ逃散ヲ防キ檢査場ニ送ルヘシベスト菌ノ有無ヲ檢定シ果シテベスト菌ノ爲メニ斃レタルコトヲ確メタルトキハ其斃鼠ヲ發見シタル家屋及其附近ノ交通遮斷法ヲ嚴行シテ鼠狩ヲ厲行スルト共ニ家屋ノ大清潔法ヲ施行スヘシ

(二) 個人的豫防法

個人的豫防法ニ在リテハ常ニ身体及住處ヲ清潔ニ保チ家屋内ニ光線ト空氣ノ流通ヲ佳良ニシ身体ノ外表ニ創傷ヲ受クルコトナキ様注意シ若シ創傷ヲ發見セハ直ニ二十倍ノ石炭酸水ニテ消毒セル后伴創膏若クハ「コロヂウム」ヲ塗布シ咄嗟ノ場合ニハ油脂ヲ塗ルモ可ナリ又勞働者ノ如キモノニ在テハ常ニ手套ヲ穿テ車夫ノ如キハ必ス足袋ヲ穿ツヲ要ス其他飲食物ハ必ス一回煮沸シ又食器等ニハ蓋ヲ被フ可シ

(13) 看護者ノ注意

本病患者ノ看護ハ一般傳染病ニ於ケルモノト異ナル所ナシト雖モ特ニ本病ニ就テハ左ノ注意ヲ爲スヘシ

(一)本病ノ病毒ハ本病患者腫腺ノ膿及滲出液大便、尿、咯痰唾液涙液等總テノ分泌物及排泄物中ニ含有シテ衣服敷布等ニ附着スルヲ以テ衣服敷布等ハ時々交換シテ巖密ニ消毒スルヲ要ス而シテ此病毒ハ患者ノ恢復期ニ於テモ存在シテ他人ニ感染スルノ力ヲ有ス故ニ恢復期ノ患者ト雖決シテ忽ニス可ラズ

一本病ノ病毒ハ蚤、虱、蚊、蠅等ノ媒介ニヨリテ他人ニ傳染スルノ恐レアリ故ニ夏時ニハ必ス蚊帳ヲ垂レテ蚊、蠅、等ノ來襲ヲ防禦シ患者ノ衣服臥床蒲團等ニ蚤虱等ノ寄生セサル様注意シ屢之レヲ交換シテ消毒ス可シ

一本病ノ病毒ハ蚤蚊等ノ螫創ノ如キ肉眼ヲ以テ視得ベカラサル幽微ノ創場ヨリ傳染スルモノナリ故ニ些細ノ創ト雖決シテ忽ニセス患者及其排泄物亦衣服等ヲ取り扱ヒタルキハ手ハ毎回必ス消毒藥液中ニ浸漬シテ消毒スベシ

一本病患者ノ看護ニ從事スル看護人ハ一定時間毎ニ交代シ患者ト同室内ニ於テ起臥ス可ラス而シテ看護ニ從事スル間ハ帽ヲ胃リ消毒衣ヲ纏ヒ足袋ヲ穿チ靴ヲ着クルハ勿論ニテ交代ノ際ハ消毒衣ノ外全衣、帽及足袋ヲ脱シテ之ヲ消毒シ露出セル身体部分ハ二十倍石炭酸水ヲ以テ消毒シテ后沐浴シ消毒セル新衣ヲ着シテ別室ニ退キ休憩スベシ

一本病患者病室内ニ於テハ飲食喫煙スルヲ禁ス

一本病患者看護從事中ハ如何ナル事情アルモ決シテ他ノ病室ニ出入ス可ラズ

第三編 「ペスト」豫防ノ心得

「ペスト」菌ハ種々ノ病原的細菌ト全シク不潔ナル場處殊ニ濕氣ト共ニ且ツ暗黒ナル場所ニ在リテハ長ク生存スルノミナラス蕃殖ノ速ナルモノナリ而シテ其人体ニ侵入スル經路ハ赤痢コレラノ如ク狹隘ナラス故ニ各自深ク攝生上ニ留意シ特ニ左記ノ事項

ヲ心得該病ニ感染セサル様注意スルヲ要ス

第一章 患者發生前ノ豫防心得

第一 身体ニ就テ

- 一 身体殊ニ手足其他創傷ハ「ペスト」病毒ノ入口ナレハ以下各項ニ依リ注意スベシ
- 二 創傷面ハ貳十倍ノ石炭酸水ヲ以テ洗條シ尙之レニ浸セル「ガ」
「ゼ」若クハ晒布ニテ包ムベシ決シテ「タモトクヅ」古布片古
紙等ヲ用ユベカラズ
- 二 指先ノ「さかむけ」ヲ生セサル様ニシ若シ生シタルキハ直ニ膏
藥類ヲ以テ覆フベシ
- 三 腫物ハ手療治ヲナス醫師ノ治療ヲ乞フベシ
- 四 手足ノ爪ハ切り去リテ垢ノ溜ラヌ様ニスベシ
- 五 常ニ足袋ヲ用ヒテ創傷ヲ防クベシ
- 六 労働者ハ履物ニ注意スベシ
- 七 足袋股引脚絆ノ類ハ怠ラス洗濯スベシ

八 身体ニ異狀ヲ覺ヒタルキハ速ニ醫治ヲ受クベシ

九 ペスト流行地方ヨリ來航セル船内若クハ氣車ニ乘リ又ハ其荷
物等ニ接セシモノハ少ナクモ手足及衣服ヲ消毒スベシ

第二 衣服ニ就テ

- 一 衣服夜具ノ類ハ品質ノ良否ニ拘ラス清淨ナルモノヲ用ヒ又時
々日光ニ曝スベシ
- 二 古着類ハ假令清淨ナリト認メ得ヘシト雖其儘用ユベカラズ
- 三 貸浦團ニハ注意スベシ
- 四 衣類ノ貸借ハセサルヲ可トス

第三 飲食物ニ就テ

- 一 飲食物ハ熟煮シタルモノヲ用ユベシ
- 二 水ハ河泉井水ノ別ナク必ス煮沸シテ用ユベシ
- 三 飲食物ヲ入ル、所ニハ鼠ハ勿論其他ノ動物ノ入ラサル様注意
スベシ

第四 住居ニ就テ

一 屋内ハ毎朝怠リナク戸ヲ開キ又暗キ所程叮嚀ニ掃除スベシ
二 敷物ノ類ハ時々日光ニ曝シ其濕拭スルコトヲ得ルモノハ拭ヒテ
后日光ニ曝スベシ

三 糞尿壺及宅地周リノ肥料溜ハ滿盛セヌ中ニ汲シ取ルベシ
四 糞尿溜等ハ破損ノ箇處ナキ様注意スベシ

五 家周リノ濕氣アル所ハ勾配ヲ附ケ溝ヲ設ケ塵芥等ノ散乱セサ
ル様注意スベシ

六 芥溜ノ芥ハ時々掃除スベシ
七 下水溝渠ニハ廢水汚土塵芥等ヲ溜ムヘカラス

八 井及井流シ等ニハ破損ノ箇處ヲ生セサル様注意スベシ
九 廢物ハ適當ナル方法ニテ消毒スベシ

第五 鼠ニ就テ

一 「ベスト」ハ鼠族トハ親密ノ關係ヲ有スルヲ以テ鼠ニハ特ニ注
意シ鼠狩ヲナスベシ

二 鼠ノ屍体ヲ發見シタル片ハ警察官吏ニ通報シ其指揮ヲ受クベ
シ

シ

三 鼠ノ屍体ハ直ニ手ニテ取扱フベカラス火箸等ニテ採リ後其火
箸ハ烈火中ニ挿入スベシ

四 鼠ノ屍体ヲ送致セントスルモノハ貳十倍ノ石炭酸水ニ浸漬ス
ル綿布ニテ包ミ若シ石炭酸水ナキ片ハ屍体ヲ「ぶりさ」罐或ハ
竹筒ニ収メ密閉シテ送致スベシ

鼠ニハ常ニ蚤等ノ附着スル者ナレハ前項ニ因リ取り扱フ片ハ
其蚤ノ人身ニ附着セサル様注意スベシ

第六 雜事ニ就テ

一時々入浴ヲ怠ル可ラズ

二 混浴ハ注意スベシ

三 常用ノ風呂敷類ハ時々洗濯スベシ

四 髪等ハ石鹼ニテ洗フベシ

第二章

甲 患家ノ豫防心得

- 一患者發生ノ際病室ハ清潔ニ掃除シ成ル可ク家什ヲ置カサル様
取片附空氣ノ流通ヲ良クスルコト
- 二患者ノ痰、唾、鼻汁糞便、尿、其他身体ノ損傷ヨリ排泄スル血液
膿汁ヲ拭ヒタル紙片布片等ハ覆蓋ヲ有スル容器ニ取纏メ其都
度消毒藥ヲ浣キ置キ更ニ燒却スルコト
- 三患者用ノ便器ハ覆蓋ヲ具ヒ且ツ滲漏ノ虞ナキ者ヲ撰ミ使用ノ
都度消毒法ヲ行フコト
- 四患者ノ用ヒタル衣服臥具敷物飲食器其他看病人ノ衣服等ハ總
テ適當ノ箇處(又ハ容器)ニ取纏メ消毒藥ヲ浣キ置キ更ニ消毒
法ヲ行フコト
- 五患者ノ損傷部ヨリ排泄スル汚汁及ヒ之ニ汚染セル物ニ蚊蠅等
ノ集マラザル様注意シ又患者ノ居室ニ蚊帳ヲ用フルトキハ其
蚊帳ハ汚汁等ニ汚染セサル様注意スルコト
- 六家人ノ飲食物ハ熟煮シ飲料水ハ必ス煮沸セサレバ使用セサル
コト

七家屋内ニ斃鼠アルハ届出テ當該官吏ノ指揮ヲ受クベシ

乙患者近傍ノ各家豫防注意

- 一芥溜ヲ掃除シ病家ヨリ流ル、汚水ノ溢流滲潤ヲ防キ且ツ井戸
及ヒ下水溝ノ破損セル部分ヲ速ニ改修スルコト
- 二病家ノ用ユル井水ヲ他家ニ於テ共用セサルコト但已ムヲ得サル
キハ煮沸シテ后チ之ヲ用ユルコト
- 三飲食物ハ成ル可ク熟煮シテ用ユルコト
- 四身体ニ創傷アルモノハ直ニ醫師ノ治療ヲ受ケ創面ノ癒着ヲ謀
リ病毒ノ侵入ヲ防クコト
- 五家屋ヲ掃除シ家什、疊、建具等ハ日光空氣ニ曝スコト
- 六衣服臥具等ハ能ク日光空氣ニ曝シ其汚レタルモノハ洗濯スル
コト

七家屋内ニ斃鼠アルトキハ直ニ警察官署ニ届出テ其指揮ヲ受ク
ベシ

明治卅三年七月十三日印刷
明治卅三年七月十六日發行

發行者

長野縣警察部衛生課

非賣品

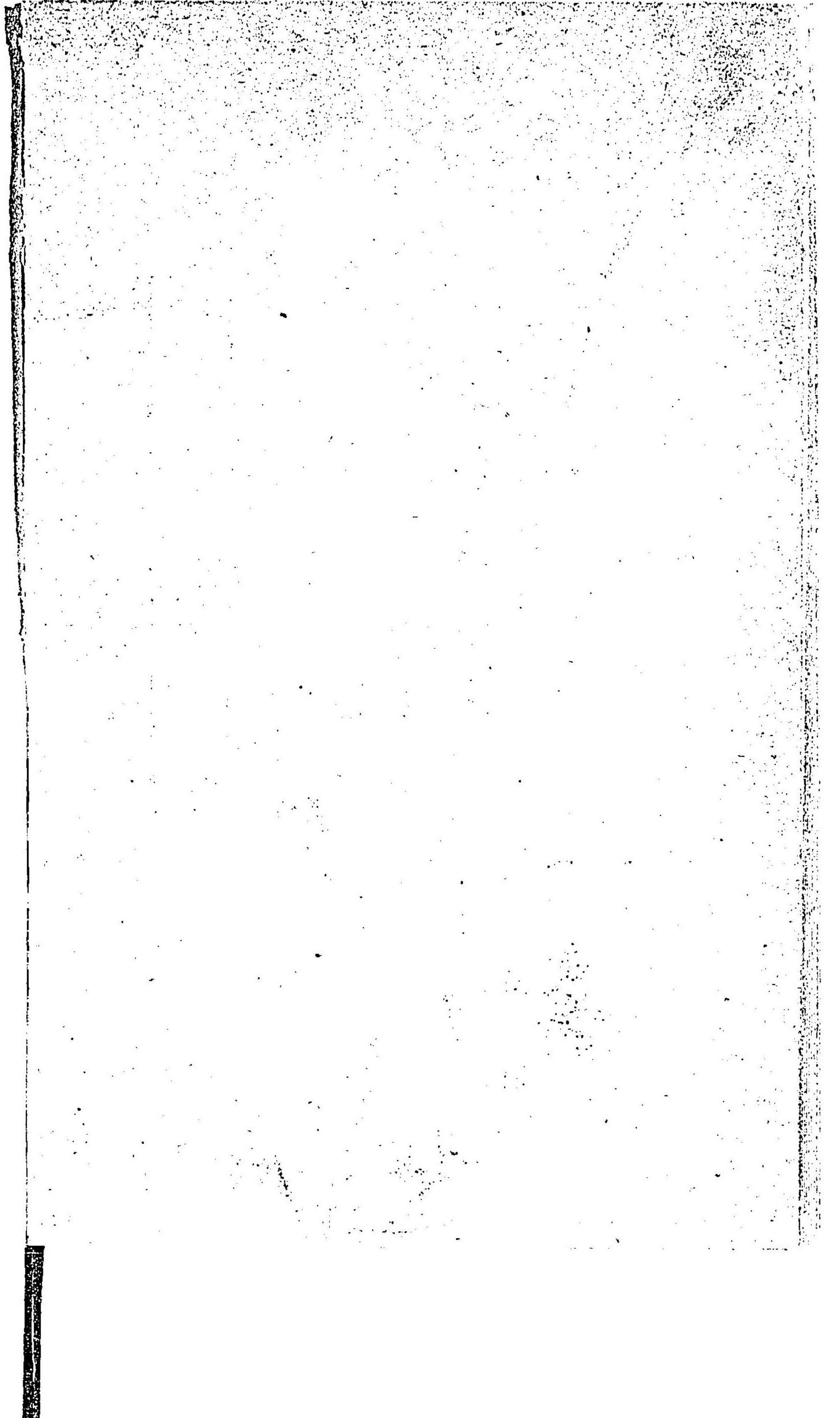
印刷者

堀賢吉

長野縣長野市西長野町
貳百三十八番地内三番

印刷所

長野縣長野市旭町八番地
信濃新聞株式會社



ペ
ス
ト
病
説
指
針

059464-000-5

特63-187

ペスト病説指針

長野県警察部

M33

CBF-0333

